

県会議員 奥村のり子の
読者ニュース

2017年8月20日 第278号

——奥村のり子生活相談所——

〒640-8212 和歌山市杉ノ馬場1-11

☎ & FAX 073-427-7121

Eメール w-jcpken@naxnet.or.jp



【左の記事関連写真です】

8月9日長崎の5つの被爆者団体が首相に要望書を手渡し「あなたはどこの国の総理ですか」と申し述べました。

終戦記念日の街頭宣伝です



8月15日は終戦記念日です。毎年、街頭宣伝を行っています。

今年も午前中は県青年部長の坂口多美子さんと、午後にはJR駅と公園前で宮本衆院議員を迎えて街頭演説

会、その後、南畑・中村市議といっしょに各地区へ訴えに回りました。

合計8カ所で街頭から訴える事ができました。

暑い中、足を止めて聞いて下さる方や植え込みやベンチに坐って聞いて下さっている方などさまざまです。車中からも今までになく、手をよく振ってくれます。若い人からの反応も増えていっているように思います。

(奥村のり子)

(写真)

力説する宮本たけし衆議院議員(中央)と声援に答える県議。市議ら

「あなたはどこの国の総理か」核兵器禁止に背を向け大恥

今年の原水爆禁止世界大会や広島市・長崎市が主催する平和記念式典は国連で、歴史的な核兵器禁止条約が採択された直後であり、国内外から大勢が参加し大変な盛り上がり。しんぶん赤旗日刊紙は何面も使つて連日報道。6日の広島市主催の平和記念式典では市長、市議会議長、県知事そして国連事務総長(代読)は、すべての方が核兵器禁止条約に言及し核兵器廃絶への決意を語りました。ただ一人この条約に一切触れなかった人がいました。アベ晋三と言う人です。

9日、長崎市主催の平和式典でも国連事務総長(代読)、長崎市長、市議会議長、県知事がこの条約に触れたのにアベ氏は広島と同じ態度。長崎の五つ被爆者団体代表5人がアベ首相に対する要望書を手渡し、(写真右)「あなたは、どこの国の総理か」「国民をあなたは見捨てるのか。今こそ我が国が、世界の核兵器廃絶の先頭に立つべき」と求めました。「核兵器禁止条約への一日も早い参加をめざし、核の傘に依存する政策の見直しを進めて下さい」(長崎市の平和宣言)など政権への批判と抗議の声がいつぱいです。

最後に今も増える被爆地の犠牲者数をお知らせし哀悼の意を捧げます。この1年間で亡くなった広島市の被爆者は5530人、犠牲者は30万8725人。長崎は3551人、17万5743人でこの1年で亡くなられた方の名簿が奉納されました。(編集室)

のり子の週刊日誌(主なもの)

- 8月18日 市駅前/吉宗像前宣伝 会議 障害者対策会議
- 19日 県政報告会 ソーラー住民の会宣伝
- 20日 河北後援会宣伝
- 20日 魔笛観賞
- 21日 河西無料生活相談 地域訪問(西脇)
- 22日 会議
- 23日 新市図書館説明会
- 24日 市駅前無料相談 団会議 県庁東玄関前国際署名行動

お盆行事あれこれ

盆休みといつてもなかなかゆっくりとはできない。田舎では盆の行事があれこれとあり、準備もふくめてけっこう時間がとられる。13日には迎え火を焚き、鐘を打つて故人たちの霊を迎える。帰ってくる霊たちが分かりやすいようにと、出来るだけ明るい火がいるのだ。

念仏講という集まりというチームが江戸時代からあり、地域の人たちのお通夜では詠歌をうたい、あるいは8月14日には初盆の家にゆき108本のろうそくに火を灯し念仏を唱える。お袋がそこへ行けなくなつてからの20年このかた、そうした行事は欠かしたことがない。

15日には灯籠流しがあり、近くの入り江で送り火を焚きな

地域社会の風習も高齢化で様変わり



孫の虎徹君と送り火

がら霊たちを見送るのだ。信仰心などとは無縁な自分だが、地域社会の風習となつているので欠かしたことがない。

だけど、門口で鐘を鳴らしながら、盆の迎え火や送り火を焚く家はめつきりと少なくなつた。田舎ではひと昔前はどこでも盆踊りが行われていたが、最近はそのような集落も激減した。高齢者ばかりで取り組めないのだ。

15日の夜、細野湾の入り江に8歳になる孫のこつと君と行った。この時期は月もなく真っ暗で、送り火の炎だけが辺りを照らしていた。

衆院1区予定候補 (党県副委員長)

原やすひさ



リレートーク Relay talk リレートーク

リレートーク Relay Talk